

日本近代洋画の巨匠
岡田三郎助の隠れた名画、登場。



岡田三郎助《婦人像》1933年

わたしの この画家この作品

井上三綱／井上自助／今里龍生／岡田三郎助／倉員辰雄／古賀兼吉／木庭密樹／坂本善三／田崎廣助
田中春弥／野口彌太郎／平井光典／平井房人／平野遼／藤田吉香／三角嘉寿男／森本草介（五十音順）

八女市
田崎廣助
美術館

YAMA TASAKI HIROSUKE
MUSEUM of ART
ESTABLISHED 2016

2020.11.21 [土] - 12.20 [日] 入館無料

開館時間 9:00 - 17:00 (入館は16:30まで) 月曜休館 (祝日の場合は翌日)

企画展前後の展示替えに伴う休館 11/4 [水] ~ 11/20 [金]、12/21 [月] ~ 2021/1/12 [火]

主催 / 八女市、八女市教育委員会

協力 / 大川市立清力美術館、筑後市立古川小学校、八女中・八女高同窓会

*新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、会期の変更、関連イベントを中止する場合があります。詳細はホームページをご覧ください。

わたしの この画家 この作品

2020.11.21 [土] - 12.20 [日] 入館無料

開館時間 9:00 - 17:00 (入館は16:30まで)

月曜休館 (祝日の場合は翌日)

企画展前後の展示替えに伴う休館 11/4 [水] ~ 11/20 [金]、12/21 [月] ~ 2021 1/12 [火]

このたび八女市田崎廣助美術館では、「わたしの この画家 この作品」を開催します。本展では、作品と人のつながりに着目します。所蔵者の作品にまつわるエピソードや思い出を紹介し、作品と所蔵者を繋いでいる心に触れます。

展示作品には、八女市民が所蔵している作品を中心とし、日本近代洋画の巨匠 岡田三郎助の名画《婦人像》をはじめ、野口彌太郎、藤田吉香等の作品をご紹介します。また、今回本市に寄贈いただいた田中春弥 (八女市出身) の作品も初公開いたします。

一枚の作品の前で時間や風や光、画家の想いを想像し、所蔵者の「お気に入り」との出会いに思いを馳せてみませんか。



平野 遼 《歩道の人》



田中 春弥 《カトレア》



野口 彌太郎 《雲仙》



坂本 善三 《外輪山》



森本 草介 《パンジー》

画家から漫画家の道へ平井 房人の屏風も初公開！



平井 房人 屏風 (部分)

八女市出身の平井房人をご存知でしょうか。1903年八女市で生まれ、福岡県立八女中学校 (現：福岡県立八女高等学校) 卒業後、1920年頃、洋画家を目指し上京。1924年頃、宝塚少女歌劇美術部に所属し、舞台の台本やポスター制作に携わる。1930年独立展入選。1938年からは大阪朝日新聞に「家庭報國・思ひつき夫人」を連載し、漫画家、挿絵画家、脚本家として活躍しました。本展では、市井の人々をユーモラスに描いた、洒落な作品をお楽しみください。

特別展示 (同時開催)

五木寛之「百寺巡礼」を巡る

八女市立花町出身の作家、五木寛之が「日本人のこころ」(講談社) シリーズに続き執筆した著書「五木寛之の百寺巡礼」(講談社) について紹介する特別展示です。日本列島の北から南まで、氏が二年間にわたって訪ねた百の寺。「全国の古寺百選」とはあえて異なり、山深くひそむ古寺や、訪れる人が少なくても歴史的に後世に伝えたい古寺等、作家の目が選んだ古刹の佇まいを、文章を通じて感じることができます。

八女市 YAME TASAKI HIROSUKE MUSEUM of ART
田崎廣助美術館

福岡県八女市立花町原島 108-1 TEL...0943-24-8304



アクセス

- 車…………九州自動車道八女ICより約15分、広川ICより約20分
駐車場無料 (八女市役所 立花支所の駐車場をご利用ください)
- 電車・バス…JR羽犬塚駅下車、堀川バス・八女方面「福島」で下車 (約35分)、
堀川バス・辺春平山線に乗換 (約5分) : 丸野下車
- * JR久留米駅下車の場合は西鉄バスをご利用ください。